

団体名：健軍リバイタライズ プロジェクト

活動のテーマ：日替わりシェアキッチンを拠点にして商店街に賑わいを取り戻す活動

助成対象活動に至った理由や背景：

自分たちが育ち小さい頃から愛着を持ってきた健軍地域・健軍商店街ですが、高齢化に伴い魅力のある店舗が減るとともに若者の往来の減少が目立っています。自分たちと同じように若い世代にも地域に愛着を持ち、コミュニティを作ってほしい。そのために地域に賑わいを取り戻し将来につなげることを目指して、健軍リバイタライズプロジェクトや地元の若者が立ち上がり、健軍地域を盛り上げるために活動しています。

【3つのテーマ】

・新名物発信の場

健軍商店街には昔は『パンダ焼き』など子どもに人気の名物が沢山ありました。しかし、時代の流れとともに名物店もシャッターが閉まり、今や商店街の名物は失われてしまいました。シェアキッチンを作り、日によって違う店舗が入ることで商店街に動きが生まれるとともに新しい名物が生まれ、今まで商店街に来ることがなかった中高生などの若い層を呼び込むことができます。

・みんなで作るコミュニティの場

健軍商店街は4つの小学校区が隣接していますが、子どもや若者向けのお店がなく高齢化しています。本事業でコミュニティスペースを作り若い世代が集まり交流する拠点として活用していくとともに、特に若い世代をターゲットにしたイベント・企画においてワークショップや体験会を開催することで、単にもの売り買いを目的とした場にはない交流が生まれる機会を作るねらいがあります。

・出店・起業への挑戦の場

商店街への出店は資金面や集客等ハードルが高い部分がありますが、新たに立ち上げるシェアキッチンを利用することで実現可能性を探ることができます。また健軍商店街は土日が歩行者天国になるためその時間帯で路上マルシェを開催します。一日だけ試験的に露店や貸店舗を利用することでチャレンジがしやすく、何回か出店してもらい商店街との繋がりを作り将来的に出店しやすくなります。

【9月までの活動の進捗状況】

・シェアキッチン OPENING イベント

今回の活動の核となるシェアキッチン

「VARIETY CHIEF」を2021年4月に開設し、オープニングイベントを開催しました。

これから日替わりで入る出店者を中心に商店街を広く使ったイベントとし、商店街全体を活気づけることで広く周知を図りました。



・高校生による健軍商店街名物パンダ焼き

かつて健軍商店街で愛された「パンダ焼き」のリバイバルとして高校生が独自に考案した新・

パンダ焼きを地元のパン屋、和菓子店の監修により製品化し、商店街での販売会を行いました。販売日は長蛇の列となり、住民の期待、反響の大きさが伺うこと



ができました。高校生が地元の名物に愛着を持っていたこと、また新たな名物を作り販回を取り戻したいと企画から販売まで実現できたことに大きな意義がありました。

- ・熊本市西区ビール販売会
健軍（熊本市東区）で、西区で生産される海苔を使ったビールを販売し、西区と東区を相互に盛り上げる企画を実現しました。

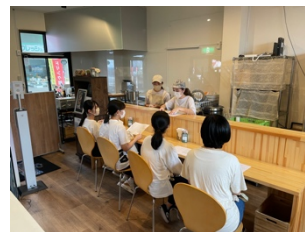


- ・健軍テラス
滞留、交流スペースとして店舗前にテーブルとイスを設置しました。
熊本市の規制緩和により申請すれば店舗前の歩道の



一部を使用できるようになったため、シェアキッチンの前にテーブルとイスを設置し、行き交う人が気軽に休憩・交流ができる空間を作っています。

- ・若い世代の交流の場
シェアキッチンに学生に優先的に利用してもらい、チャレンジの場とするとともに、若い世代を中心とした交流の場としたく、熊本大学の学生によるフードロス問題をテーマにした販売・ワークショップを実施します。熊本県産の規格外の野菜を使った味噌汁を作り、フードロスへの意識を高めてもらう試みとして大学生が挑戦しています。



【今後の活動予定】

若い世代を健軍に呼び込むために新しい取り組み、PR方法に挑戦します。

ハロウィンやクリスマスなど、これまで商店街に縁遠かった季節行事でイベントを開催し、家族連れや若い世代に足を運んでもらいます。単なるイベントではなく、健軍の魅力を知ってもらい、地域の良さを感じてもらおう機会とします。

特にコロナ禍で人々の交流の機会が減っていることから、日常の買い物や食事に加え、人との交流、コミュニティ形成も地元で叶うことを積極的に発信していきます。